

Challenge Road



学校法人 トヨタ名古屋整備学園
 専門学校 トヨタ名古屋自動車大学校

〒452-8567 愛知県西春日井郡春日町落合一番割1
 TEL:052-400-3611 FAX:052-400-3615
 学校新聞編集局 発行責任者 池山 和徳

SINCE 1961



Vol.6

URL <http://www.toyota-tn.ac.jp> E-mail gakuseibu@toyota-tn.ac.jp

新校名「専門学校トヨタ名古屋自動車大学校」



当校は4月に校名を変更し、「専門学校トヨタ名古屋自動車大学校」となりました。

当校の国家1級自動車整備士への取組みは早く、他校の追随を許さぬ平成14年4月に国家1級自動車整備士コース「自動車研究科」を定員40名でスタートさせ、その後平成18年4月に4年制一貫教育に改め、名称も「高度自動車科」に改めました。

そして、昨秋の高度自動車科入試では予想以上の出願者があり、これは受験生の国家1級志向や当校のハイレベルな教育内容への期待の高さが表れた状況となりました。そのため、当初予定していました1学年1クラス体制では多くの受験生の夢が叶えられない状況となるため、定員を80名(倍増)とし1学年2クラス体制へ改め、1級自動車整備士になりたい!という受験生の夢に応えられるようにしました。

今春高度自動車科に入学した新生は68名。難関の国家1級自動車整備士への道のりは決して平坦ではありませんが、4年後の全員合格に向け教職員一同全力でサポートしていきます。

速報

今年の自動車整備士国家試験の結果をご報告いたします!

●2級自動車整備士(590名合格/590名受験)

合格率100%!!

●1級小型自動車整備士 学科試験(32名合格/33名受験)

学科試験合格者はこのあと口述試験を受験 合格率97%!!

入学式

4月10日(火)、平成19年入学式を行いました。

校名を「専門学校 トヨタ名古屋自動車大学校」に変更した記念すべき年となった今年度は、自動車整備科551名、高度自動車科68名が入学し、新たなスタートを切りました。

当校は今年で46周年となり、新たな校名で、新たな歴史を刻んでいくこととなりますが、今までのOB・OGの方に築いていただいた信用・信頼といった実績を継承し、自動車業界をリードする最先端の知識と技術、豊かな人間性を備えた、サービスエンジニアをこれからも育成していきます。

また、川嶋あい作詞、作曲の当校のイメージソング「shining of life」が完成し、初披露となりました。軽快なリズムに、自分の夢へ向かう熱い歌詞が加わり、トヨタ名古屋校のイメージソングとしてぴったりな歌となりました。この歌をバックに、これからも「No.1でオンリーワン」の学校を目指していきます。



当校イメージソング「shining of life」
 作詞、作曲 川嶋あい

Shining of life 今輝いている僕らを止められない
 ゴールはまだ見えないから 走りつづけよう

スタートライン誰もがいつか 心の中ひいて駆け出す
 何を求め何を誇りして 衝動、絶望、覚悟した?
 Shining of life 今輝いている僕らを止められない
 大事なものを落とさないで 守りつづけたい
 失っても奪われても ひるまず前に進め
 今しかないわがわがの 悔えないでいこう

勉強して汗を流して 自分らしさここで探した
 好きなものは好きと選んで 阿吽の呼吸で生きたいんだ
 Shining of life 今輝いている僕らを止められない
 希望の風を感じながら 全力疾走
 泣きたくても苦しくても 逃げも隠れもしない
 あきらめたら後悔する 単純なことさ

誰のために何のために 今ここにいるんだろう
 無駄なこと一つもない 全部意味がある
 Shining of life 今輝いている僕らを止められない
 涙よりも笑顔がいい 輝きつづけよう

就任の挨拶

校長 池山 和徳

この4月から第8代の校長に就任いたしました。同時に校名変更をし、これをステップストーンとし、4年後の創立50周年に向けて、教職員一丸となって、邁進したいと思います。お陰様で、4月10日(火)には619名の新入学生を迎え、トヨタ白川郷自然学校にて学生諸君が夢や希望を語り合う姿を頼もしく感じ、同時に、ご家族からお預かりした皆さんを、自動車業界各分野へ立派に送り出すことが、我が最大にして最高の職務と姿勢を正すと共に精進することを誓いました。

北欧の諺に「持ち上げるのは簡単だが、持って行くのは困難だ」があります。学園も、過去、後退を余儀なくされる局面が何度かありました。その都度、皆様のお陰でなんとか乗り切り、地味な一歩一歩の努力でやってまいりました。

高度自動車科への応募は、想定以上の手応えを感じております。今後もそういったお客様のお気持ちを常に大切にしていきたいと思いますので、引き続きのご厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

退任の挨拶

前校長 藤田 紀一郎

本年3月末をもって当学園での11年間の共有生活を卒業いたしました。

この間6000名以上の学生の皆さんとの出会い、有能な教職員に恵まれたこと、また日頃お世話になっている関係先の皆様から心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

学生寮の完成、学生会館・総合技術棟の建設等の設備の充実、基本理念・教育理念の制定、2度にわたる校名変更など体制整備は順調に進める事ができました。しかし、18歳人口の激減、大学全入時代など、今後かつてないほどの厳しさを増す学生募集・教育活動に対し全校一丸となって懸命に取り組まなければなりません。

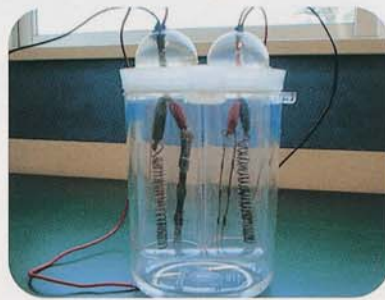
「トヨタ名古屋自動車大学校」としての新たなスタート、池山新校長のもとNo.1でオンリーワンの学校になる夢の実現に向け、来る50周年を磐石な体制で迎えることを期待いたしております。

皆様のご健闘をお祈りいたします。すばらしい11年間で本当にありがとう。

卒業研究について

高度自動車科担当 久保田 健一

高度自動車科では、学生が自ら考え目標に向かって行動する能力を養うために、4年次に卒業研究を実施しています。卒業研究とは、学生が各々テーマを決め、1年を通して実験や研究を重ね、論文を完成させ発表するものであります。高度自動車科の前身である自動車研究科の1期生から続いており、高度自動車科の特色の一つになっています。学生2~4人で班をつくり、33名が11のテーマに取り組みました。1月18日(木)と19日(金)の2日間に渡り行われた発表会には高度自動車科の3年生、学生の内定先をはじめとする販売会社20社、愛知県警西枇杷島署の交通課の警察官も参加していただき、かつてない規模となりました。卒業研究を通して、どの学生も課題をもち、自分たちで手法を考え実践し、粘り強く行動する能力が身についたと思います。これから、社会に出て様々な難関が待っているとありますが、今回の経験を活かすことできっと乗り越えてくれるものと確信しております。



学生が製作した燃料電池



燃費に関する研究の実験風景

●卒業論文 テーマ一覧

- ・時間帯別における交通違反の変化
- ・自動車リサイクルの現状と将来
- ・プリウスのトラブル設定BOXの製作
- ・アースリングとその効果について
- ・運転方法に伴う燃費への影響
- ・レシプロエンジン用ターボチャージャーを用いたガスタービンエンジンの改良について
- ・ガソリンとエタノール混合燃料の性能比較
- ・原動機付自転車のエンジンをを用いた低燃費自動車の製作
- ・軽量化が車両性能に及ぼす影響
- ・改良型燃料電池の製作
- ・来店型店舗演出の提案



ガスタービンエンジンの実験風景



研究発表風景

卒業式

3月20日(火)、平成18年卒業式を行いました。

今年は、自動車整備科(2級コース)590名、高度自動車科(1級コース)33名が卒業証書を受け取り、社会人として新たなスタートを切りました。当校は今年4月から学校名を専門学校トヨタ名古屋自動車大学校と変更した為、トヨタ名古屋整備専門学校としては最後の卒業生となり、卒業生は創立以来累計21,125名となりました。

学校長式辞をはじめ理事長挨拶、来賓祝辞と暖かい励ましに、社会人に向けて学生の表情が引き締まっていました。

また、毎年恒例となっている手作りのビデオレターを上映し、厳粛な式典の最後に和やかな空気を運びました。

そして、今年の式典の締めくくりとして、卒業生全員が一同に精一杯の声で「ありがとうございました」とあいさつし、お世話になった先生方へ心からの感謝の気持ちを表現しました。厳粛な中にも若さあふれる卒業式となり、ご来場されたご来賓、保護者の皆様も感激一杯の式でした。



サービス技術コンクール

トヨタ自動車日進研修センターにおいて、4月21日(土)ネット店、5月12日(土)トヨペット店のサービス技術コンクールが行われました。

全国にあるネット店とトヨペット店の各地区予選を勝ち上がったチームが日進研修センターにて全国No.1をかけて競うものです。

作業内容は、受付、診断、修理をそれぞれの選手が行い正確な修理作業と的確な診断作業が要求されます。地区予選を勝ち抜いた選手の中には、多くの卒業生おり、俊敏な動きで作業をしていました。

毎年多くの卒業生を輩出していますが、このような輝かしい場所で技術を競うことは、とても光栄なことです。

学生諸君も、トヨタの最高峰の技術者を目指してほしいです。



故障診断競技準優勝
富田さん(左)



競技中の鈴木さん

4月21日(土)ネット店

サービス技術コンクール入賞OB紹介

●故障診断競技

準優勝

ネットトヨタ東海株式会社
富田 友裕さん

優秀賞

ネットトヨタ北九州株式会社
鈴木 顕弘さん

※トヨペット店の結果につきましては、記事締め切りの都合で掲載できませんでした。

OB・OG紹介

当校を1969年卒(9期生)で、トヨタカローラ岐阜株式会社の取締役新車部長としてご活躍されている酒井氏へ、学生時代のエピソードや当校の学生への期待などについて語っていただきました。



トヨタカローラ岐阜株式会社 取締役新車部長

酒井 憲友氏

(岐阜県立郡上高等学校卒)

技術を身につけたいならトヨタ名古屋校が一番いい!、という一言があったから決めました。

●学生時代のエピソード

トヨタ名古屋校ではレポート提出が大変でした。だから、高校までとは比較にならない程勉強しました。毎日夜遅くまで頑張りましたよ。自動変速装置の構造が難しかったかな。でも車が好きだったことや、周りの友達も必死に頑張っていたことから全然苦にならなかったです。当たり前なことだと考えていました。

●仕事にまつわるエピソード

就職して間もない頃、先輩達がデフのうなり音で苦戦していたデフ調整(歯のかみ合わせ)を新人の私が一発で直しました。トヨタ名古屋校で学んだ基本が役立ちました。私自身、負けず嫌いな性格で、「トヨタ名古屋校で勉強してきたのだから整備技術では誰にも負けない!」という自信がありましたね。

●仕事上のモットー、信念

2つあります。

①「元気良く」「明るく」「笑顔」「スピーディー」、この言葉を大事にしています。どうせ仕事をするのであれば、楽しくやろう!というのが根底にありますね。

②人の良い点をみるようにしています。人を嫌いになると、相手

も自分を嫌うものです。気持ち良く仕事をするためには、気持ち良く仕事ができる体制をつくることだと考えています。

●トヨタ名古屋自動車大学校の学生へ期待すること

最近、(年齢的なものもあると思いますが)随分忘れっぽくなりました。

でも、トヨタ名古屋校で学んだことは今でも覚えています。19歳~20歳に学んだことは、一生忘れないものです。この時期に一生懸命やったことは一生自分のものになります。是非本気で打ち込めることを見つけ、頑張ってください。



トヨタカローラ岐阜株式会社本社

Past Students

●新人先生紹介 meet the Teachers

教育部配属 小川 剛司



教育部1年電装担当の小川です。今年の3月に高度自動車科1期生として卒業しました。私が普段心がけていることの1つとして、何事も楽しむということがあります。遊ぶ時は思い切り遊び、辛い事があってもそれを楽しみながら乗り越えていくということです。物事はプラス方向に考えると自然とうまくいく場合が多いのではないかと思います。そんな事を考えている私ですが、勉強以外の事でも気軽に話せる身近な存在の先生でいたいと思っています。これから精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いします！

教育部配属 谷川 亮太



みなさんはじめまして。今年度から「トヨタ名古屋自動車大学校」に校名が変更され、そのような節目となる年に教員として携わることになり、大変うれしく思っています。私は、九州の福岡で生まれ、福岡で育ちました。全てが新しい環境になり、まだ戸惑うことばかりです。しかし、16年間続けてきた剣道で養った精神を生かしながら、みなさんと共に成長していきたいと思っています。情熱だけは誰にも負けないよう、そしてその熱をいつまでも絶やさないよう、精進していくつもりです。みなさんががんばりましょう！

学生部配属 中野 香代



こんにちは、中野香代です。4月から学生部に配属になりました。学生さんの元気な挨拶が飛び交うこのトヨタ名古屋自動車大学校で働くことができ、期待(不安もあります)で胸がいっぱいの新人です。入社して数日ではありますが、毎日充実した楽しい日々を送っています。まだまだわからないことばかりですが、ひとつひとつ覚え頑張っていきたいと思っています。元気な学生さんに負けないように、私も元気に仕事をしていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

「カウンセリングルーム」オープン

当校は今年1月よりカウンセリングルームをオープンしました。カウンセリングルームには専門のカウンセラーを配置し、毎週金曜日に学生の相談を受け付けています。

「カウンセリングと言うと、何か深刻な問題でないと相談してはいけないのではないかと考える人もあるようですが、心に溜まったモヤモヤを吐き出すところ、スッキリするところと理解して下さい。話すだけでもスッキリしたという帰っていく人が多いです。」と増田カウンセラー。

壁面には野鳥や草花の写真を飾り、フロアには観葉植物を配置し、全体で「癒し」の空間を構成しています。特に相談事がなくても、つい長居をしてしまいそうなカウンセリングルーム。みなさんも気軽に遊びに来てください。



カウンセリングルームにて

工場見学(トヨタ自動車など)

自動車整備科1年生として最後の行事である、工場見学に3月6日(火)から4日間、4班に分かれて行ってきました。

春の陽気の中、トヨタ自動車元町工場・トヨタ会館・産業技術記念館の3カ所を見学し、元町工場では自動車の製造工程やトヨタ自動車の世界に誇る生産方式を、トヨタ会館ではトヨタ自動車の取り組みや最新技術に触れ、最後に産業技術記念館でトヨタ自動車の歴史や製造業の進歩を学び、自動車整備業界を志すこの1年間無我夢中で努力を重ねた節目のイベントとしてとても有意義な1日を過ごしたと思います。

この見学を通し印象的だったことは、案内して下さった方をうならせるような鋭い視点からの質問をしたり、整備する立場からの見方ができたことなど、この1年間の学習成果を感じることができ、こんなに成長するものかと驚かされ、また、とても頼もしく今後への期待が膨らむものとなりました。この見学で得たことを活かし、残りの学校生活でさらなる飛躍を期待します。



このサイズで350km/hはスゴイ!!



これぞナスカーのド迫力!



愛・地球博でトヨタ館から出展したi-unit



愛・地球博でトヨタ館から出展したi-foot

N EWS FILE

●就職相談室だより(就職状況報告)

2008年3月卒業予定学生の就職試験が、早い時期では2月初旬から実施されており、4月27日(金)現在、516名が既に内定先が決定し、内定率は90%と順調な滑り出しになっています。また、第1希望の企業への内定者は501名で93.6%と、昨年の87.1%を上回る数値になっています。この数値は、ひとつには学生諸君が入学3ヵ月後からの就職授業や就職ガイダンス、夏休み中には企業訪問、企業説明会に参加する等、早期からの活動、また、11月に当校でのトヨタ販売会社及びトヨタ関連企業の企業説明会の実施から一気に就職活動に望むマインドが高まり、じっくり入社試験準備を行った成果と思われる。

また、もうひとつ、当然のことながら多くの求人と、内定をいただきました。各企業様のご理解の賜物であり、この場をお借りし、御礼申し上げますとともに地区によっては各企業様のご要望に応えきれなかったことに対し深くお詫び申し上げます。今年の就職状況は、地区での差はあるものの、各企業様の求人採用人数は増加しております。

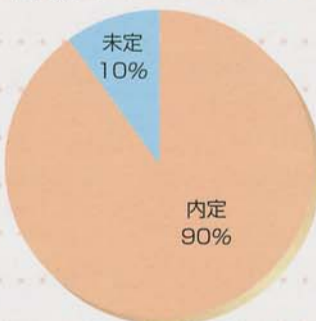
18歳人口の減少に加え、販売会社様のサービス重視の方針から、職種を問わず、新卒採用が増加することが予想されます。このような状況の中、我々教職員は今後も手を抜くことなく全力をあげて就職のサポートをしていきます。

引き続きの皆様方のご支援をいただきますよう、よろしくお願い致します。



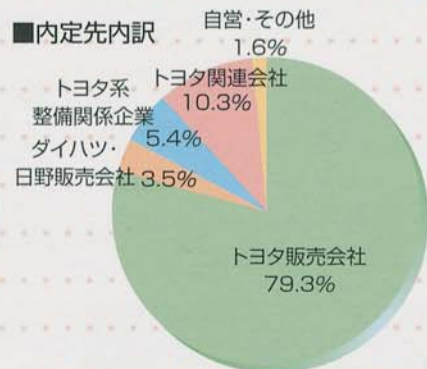
就職相談室にて

■内定率



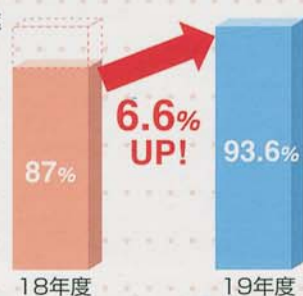
(2007年4月27日現在)

■内定先内訳



(2007年4月27日現在)

■第一希望合格率



2007年4月27日現在
対象:自動車整備科2年
高度自動車科4年

